

いちよしアセットマネジメント

■上値の重い展開が続く日本株

世界が注目した米大統領選を通過した後も、日本株相場は上値の重い展開が続いています。大統領選の結果を巡り、共和党候補のトランプ前大統領が優勢と伝わった11月6日こそ、同氏が主張する景気刺激策への期待感から為替市場にて円安が進行し日本株は大幅高となったものの、その後は売りに押される格好となっています(図表①)。

トランプ氏が掲げる米国への輸入関税引上げへの懸念や低調な国内企業決算、日銀による利上げ観測の高まり等を背景に、海外投資家が日本株売りに動いていることがその理由です。

前週に日経平均株価が史上最高値を更新し、利益確定売りが強まった7月第3週から直近11月第1週まで、海外投資家は現物と先物を合計して約7兆5,000億円売り越しており、日本株への売り圧力が高まっていると言えます。

■高水準の株主還元が日本株の下支えとなると見る

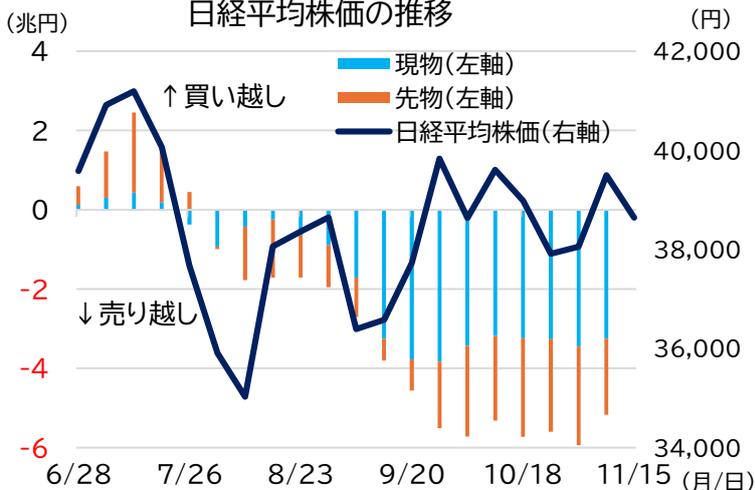
上値の重い展開が続く日本株ですが、一方で企業による高水準の株主還元が相場を下支えする構図に変化はありません。従って、下値は限定的と考えられます。

図表②は、主な投資部門別売買動向と日経平均株価の推移を表したグラフになりますが、自社株買いの動きを反映する事業法人の買い越しが継続していることがお分かりいただけます。現物と先物を合計した買い越し額は、7月第1週から直近11月第1週までの19週連続で買い越しとなっており、日本株の主要な買い手として存在感が高まっています。

図表③は、国内上場企業における自社株買い総額と配当総額を合計した総還元額の推移を表したグラフになります。2024年は9月までの合計になりますが、既に昨年の実績を上回って推移しており、通年での過去最高額の更新が期待されます。

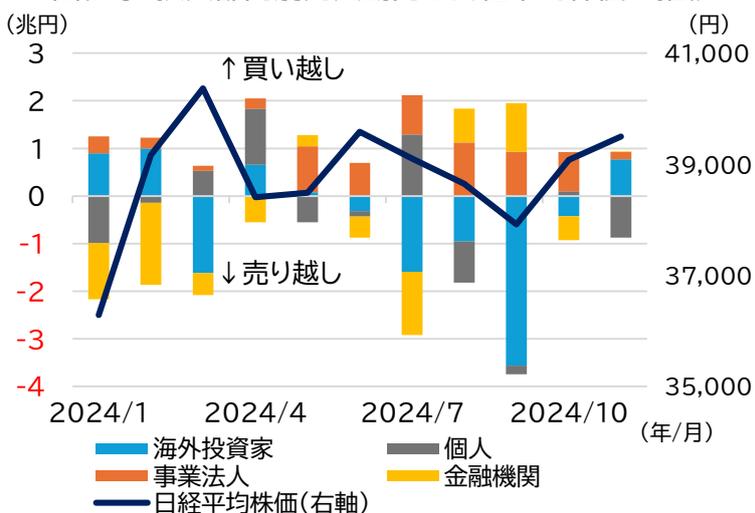
東京証券取引所による資本効率改善要請を背景に、今後も上場企業による株主還元の充実が期待され、中長期的に日本株をサポートすると思われます。

図表①: 海外投資家による日本株売買動向と日経平均株価の推移



※ 期間は2024年6月末～11月15日、売買動向は2024年6月第4週～11月第1週までの累積値
(出所) Bloombergよりいちよしアセットマネジメント作成

図表②: 投資部門別売買動向と日経平均株価の推移



※ 期間は2024年1月末～11月8日、11月の売買動向は8日までの値
(出所) Bloombergよりいちよしアセットマネジメント作成

図表③: 国内上場企業の総還元額 (自社株買い総額 + 配当総額) の推移



※ 期間は2014年～2024年、2024年は1～9月までの合計
(出所) Bloombergよりいちよしアセットマネジメント作成

◆当資料は投資判断のご参考となる情報提供を目的としていちよしアセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断下さい。
◆当資料は信頼できると考えられる情報をもとに作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載は過去の実績であり、将来の成果を示唆、保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。